

第50回定時総会議案書

平成25年6月13日（木）

ホテルキャッスルプラザ



公益社団法人 日本包装技術協会 中部支部

平成24年度 中部支部事業報告

第1 諸会議

- | | | |
|---------------------|------------|-----------------|
| 1) 第49回役員会 | 4月26日(木) | 名古屋マリオットアソシアホテル |
| 2) 第49回定時総会 | 5月17日(木) | ホテルキャッスルプラザ |
| 3) 第1回運営委員会 | 8月31日(金) | ホテルキャッスルプラザ |
| 4) 第2回運営委員会 | 25年2月8日(金) | ホテルキャッスルプラザ |
| 5) 第48期包装管理士講座講師打合せ | 25年3月8日(金) | ホテルキャッスルプラザ |

第2 事業

1) 研究会活動

(1) 研究例会

① 包装資材研究例会 (参加者 82名)

～紙系包装資材の最近の技術開発動向から～

平成24年6月28日(木)

愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103会議室

コーディネーター

浅野段ボール株式会社 営業部長 吉田 将之 氏
見田工作株式会社 LP室長 奥平 賢司 氏

1) 「防災段ボールの開発 ～災害時避難所用間仕切りへの展開～」

レンゴー株式会社 包装技術部 パッケージ開発センター 主任 梶塚 孝士 氏

2) 「新断熱紙容器の開発について」

東罐興業株式会社 新事業・新製品開発部 紙容器開発グループ 長瀬 勇二 氏

3) 「機能水溶紙について～感熱印字物流ラベルなど包材への新用途」

日本製紙パピリア株式会社 開発研究所 主任研究員 新西 政浩 氏

4) 「ノンスリップシート・吸着シート製品の紹介」

積水テクノ商事西日本株式会社 商品企画部 課長 倉本 茂彦 氏

5) 「再封かんが簡単な段ボールケースの開発」

株式会社エコス 代表取締役 多和田 博 氏

② 輸送包装研究例会 (参加者 100名)

～海外輸送包装試験規格と北米の物流事情について～

平成24年7月26日(木)

愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103会議室

コーディネーター

中津川包装工業株式会社 亀山営業所長 大山 孝一 氏

NGKロジスティクス株式会社 業務部副部長 矢島 泰人 氏

1) 「海外の輸送包装試験規格-JISとの違いなど」

エクサーチ株式会社 代表取締役 高木 雅広 氏

2) 「北米の物流事情と包装材の適合化」

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

技術本部プリンター統括技術部25部 責任者 瀬戸上 裕 氏

③生活者包装研究例会 (参加者 50 名)

～最新パッケージデザインとライオンの機能性容器開発～

平成24年9月20日(木)

愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103会議室

コーディネーター

笹徳印刷株式会社 編集製作本部長 近藤 浩一 氏

ホーユー株式会社 桜ヶ丘製造部 品質保証課長 高見 昭寛 氏

1)「クリエイティブから考えるECOとUDのパッケージデザイン」

大日本印刷株式会社 包装事業部 企画本部 チームリーダー 中越 出 氏
(社団法人日本パッケージデザイン協会 理事)

2)「ライオンの機能性容器開発と容器包装を通じた環境対応について」

ライオン株式会社 研究開発本部 包装技術研究所 主任研究員 山本 昌彦 氏

④包装技術研究例会 (参加者 101 名)

～海上コンテナ輸送トラブル対応と包装材料の法規制最新動向～

平成24年11月15日(木)

愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階 1103会議室

コーディネーター

リスパック株式会社 技術開発本部 取締役本部長 押田 孝博 氏

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

1)「海上コンテナ輸送でのトラブル対応事例について」

株式会社 日通総合研究所 物流技術環境部

輸送環境試験所 所長 (包装管理士) 中嶋 理志 氏

2)「包装材料規制の国内外の最新動向とその対応について」

フタムラ化学株式会社 フィルム事業部

開発チーム 係長 (包装専士) 花市 岳 氏

(2)講演会

①定時総会記念講演会 (参加者 74 名)

平成24年5月17日(木)

ホテルキャッスルプラザ 3階「孔雀の間」

「元気の出る企業経営と世界経済」

～MBOによる自社買収と東証上場から学んだ経営とは～

荏原ユーザイト株式会社 代表取締役会長 粕谷 佳允 氏

②北陸地区包装技術講演会 (参加者 56 名)

平成24年10月12日(金)

富山情報ビル 4階 第1・2会議室

1)「デンソーが考えるこれからのロジスティクス&包装とは」

(株)デンソーロジテム 取締役第一業務本部長 近藤 裕之 氏

2)「ブランド価値を創造するパッケージデザイン」

(株)ブラビス・インターナショナル 代表取締役社長 フミ・ササダ 氏

(社)日本パッケージデザイン協会理事長

(3)岐阜地区見学会 (参加者 41 名)

平成24年9月14日 (金)

～冷凍食品工場とプラスチックリサイクル工場を視る～

見学先①味の素冷凍食品(株)中部工場

見学先②(株)エフビコ中部リサイクル工場

(4)包装研究懇話会

①第25回包装研究懇話会 (参加者 20 名)

平成24年12月6日 (木) 午後

あいち産業科学技術総合センターと「知の拠点」

施設の概要説明、計測分析機器とシンクロトン施設等見学

②第26回包装研究懇話会 (参加者 21 名)

平成25年3月13日 (水) 午後

リンナイ株式会社 大口工場の見学

ガス器具製造ラインと包装梱包部門の見学、リンナイの包装設計についての講演

(5)第52回包装技術研究大会中部大会 (参加者 141 名)

～これからの包装力向上と包装改善へのヒントを探る～

平成25年2月21日 (木)

愛知県産業労働センター (ウインクあいち)

コーディネーター

刈谷紙器株式会社 常務取締役 (包装管理士)

神谷 強 氏

フタムラ化学株式会社 フィルム営業企画部企画Gリーダー

後藤 嘉信 氏

株式会社デンソーロジテム 第1業務本部包装管理部長 (包装管理士)

石川 元信 氏

京セラドキュメントソリューションズ株式会社プリンター統括技術部25部責任者 (包装専士)

瀬戸上 裕 氏

1) 「カーナビゲーションシステムの包装改善」

株式会社デンソーロジテム 第1業務本部包装管理部長 (包装管理士)

加藤 和也 氏

2) 「段ボール製リターナブルモジュール容器の提案事例」

中津川包装工業株式会社 営業本部 設計室 (包装管理士)

後藤 利臣 氏

3) 「美容向けスタイリング剤3210 (ミニーレ) の製品開発」

ホーユー株式会社 マーケティング本部 商品管理部 (包装管理士)

小澤 一馬 氏

4) 「緩衝材固定用ホットメルト両面テープの開発」

日東電工CSシステム株式会社 事業統括センター 開発グループ員 (包装管理士)

植田 尚敏 氏

5) 「プロ用カメラのフィルター切り替え機構の輸送包装改善」

ソニーイーエムシーエス株式会社 湖西サイト設計1部 (包装管理士)

木島 晴美 氏

6) 「住宅用サッシ枠ユニットのKD包装の改善」

YKK AP株式会社 生産本部 品質管理室 (包装管理士)

戸倉 浩二 氏

7) 「航空機部品の梱包輸送に関して」

名港海運株式会社 営業第一部 部長補佐 (包装管理士)

鳥居 晃好 氏

8) 特別講演「包装視点から捉えたトヨタサービスパーツ物流の課題」

トヨタ自動車株式会社 サービスパーツ物流部 物流準備計画室長

大坪 亘史 氏

2) 研修活動

(1) 第22回包装設計の基礎講座 (参加者 42名)

～聴いて・視て・触れて学ぶ、包装試験施設と一体型の役立つ講座～

平成24年5月24日(木)・25日(金)

愛知県技術開発交流センター 交流会議室

第1日目

①包装概論

- ・包装の社会的役割、その目的と機能・環境への配慮とUD・ヤマハの事例

ヤマハ株式会社 物流システム部 企画推進室 課長 小澤 秀人 氏

②段ボール箱の基礎と応用

- ・段ボールの構造と原紙種類・段ボール箱の規格と製造工程・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 製品開発課 主事 (包装管理士) 下山 公章 氏

③段ボール箱の設計

- ・段ボール箱の設計手順・段ボール箱の設計要因と劣化要因・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 製品開発課 主事 (包装管理士) 下山 公章 氏

④緩衝包装設計

- ・緩衝包装の目的 ・緩衝材の種類と特徴 ・緩衝性能と緩衝設計技法

旭化成ケミカルズ株式会社 パッケージング技術開発部 主査 高田 幹生 氏

⑤プラスチック系包装材料の基礎知識

- ・プラスチック系包装材料の種類と機能・環境対応の新材料 ・包装材料への法規制

アイゼロ化学株式会社 マーケティング本部技術研究所 マネージャー 鈴木 宏昌 氏

第2日目

⑥包装試験の目的と試験法・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター 技師 徳田宙暎 氏

⑦包装試験関連施設 (衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など) の見学

あいち産業科学技術総合センター産業技術センター 主任研究員佐藤幹彦・徳田宙暎・飯田恭平 氏

⑧最適包装設計の考え方

- ・包装設計で考慮すべき項目 ・製品強度と包装設計 ・最適包装と環境配慮包装

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社 開発イノベーションセンター製品技術部

2Gマネージャー 杉山 貴司 氏

⑨積載効率を上げる集合包装

- ・集合包装の目的・集合包装の重要性とユニットロード ・日東電工の集合包装事例

日東電工株式会社 テープ事業部門製造統括部企画部 部長 八束 伸明 氏

⑩包装改善とロジスティクス

- ・ロジスティクスとは ・ロジスティクスの中での包装の役割 ・グローバル化と包装

株式会社デンソーロジテム 取締役 第1業務本部長 近藤 裕之 氏

(2) 第47期包装管理士講座 (名古屋会場)

名古屋会場受講者 66名 内訳輸送包装コース 39名、生活者包装コース 27名

①オリエンテーション

6月6日(水)～8日(金)

ホテル日航豊橋

②材料教科 (輸送包装・生活者包装/共通教科)

6月20日(水)～22日(金)

愛知県産業労働センター

③生活者包装コース

7月2日(火)～6日(金) 愛知県産業労働センター

④輸送包装コース

7月10日(火)～12日(木) 愛知県産業労働センター

7月13日(金) 愛知県技術交流センター

⑤ケーススタディー／面接試験

9月5日(水)～7日(金) ホテル日航豊橋

⑥第47期包装管理士講座合格証書授与式

10月26日(金) メルパルク名古屋

3) 会員交流会

①第49回 定時総会交流懇親会

5月17日(木)

ホテルキャッスルプラザ

②北陸地域会員交流懇親会

10月5日(金)

富山情報ビル

③2013中部包装界賀詞交歓会

25年1月16日(水)

ホテルキャッスルプラザ

4) その他関連事業

①2012東京国際包装展

10月2日(火)～5日(金)

東京ビッグサイト

②第50回全日本包装技術研究大会

11月29日(木)・30日(金)

幕張メッセ

③色材セミナー

25年3月13日(水)

名古屋市工業研究所

第3 組織

会員動勢(平成24年4月1日～平成25年3月31日)は、次の通りである。

1. 法人会員

平成23年度末	平成24年度		
現在数	入会数	退会数	現在数
947	71	31	987

2. 個人会員

平成23年度末	平成24年度		
現在数	入会数	退会数	現在数
177	17	20	174

3. 特別会員

平成23年度末	平成24年度		
現在数	入会数	退会数	現在数
26	—	—	26

<会員登録動勢一覧>

	平成24年 4月1日		本年度		平成24年度 合計
			入会	退会	
会員総数	1,150		88	51	1,187
法人	947		71	31	987
(口数)	(970)		(71)	(31)	(1,010)
個人	177		17	20	174名
特別会員	26		—	—	26名
登録員数	法人	947社 2,923名	71社 213名	31社 94名	987社 3,042名
	個人	177名	17名	20名	174名
	合計	3,100名	230名	114名	3,216名
関東支部	法人	1,727	147名	58名	1,816
	個人	95	11名	8名	98
関西支部	法人	587	31名	18名	600
	個人	35	3名	9名	29
中部支部	法人	418	19名	14名	423
	個人	24	2名	3名	23
西日本支部	法人	92	7名	3名	96
	個人	6	1名		7
北海道支部	法人	45	6名		51
	個人	1			1
東北支部	法人	54	3名	1名	56
	個人	16			16

注) 中部支部の法人会員 (423名) の内訳について
 中部地区登録会員 129社 349名
 関東支部から 45社 49名
 関西支部から 23社 24名
 東北支部から 1社 1名

平成24年度中部支部収支決算書
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：円)

収入の部				
科目	予算額	決算額	差額	備考
事業収入	20,995,604	21,369,752	-374,148	
研修事業収入	20,826,750	21,246,550	-419,800	
交流事業収入	141,000	120,000	21,000	
雑収入	27,854	3,202	24,652	
支出の部				
事業活動費支出	26,740,000	18,628,899	8,111,101	
研修事業費	17,320,000	12,347,147	4,972,853	
交流事業費	3,700,000	2,890,567	809,433	
管理費	5,720,000	3,391,185	2,328,815	
旅費交通費	500,000	49,320	450,680	
通信運搬費	500,000	282,916	217,084	
減価償却費	20,000	0	20,000	本部対応事項
消耗什器備品費	100,000	142,109	-42,109	
OA費	240,000	233,406	6,594	
印刷製本費	220,000	104,502	115,498	
賃借料	1,850,000	1,800,396	49,604	
事業活動費	1,190,000	709,066	480,934	
租税公課	600,000	0	600,000	本部対応事項
退職給付引当金繰入額	300,000	0	300,000	本部対応事項
雑費	200,000	69,470	130,530	
事業活動収支差額	-5,744,396	2,740,853	-8,485,249	
予備費支出				
当期収支差額	-5,744,396	2,740,853	-8,485,249	
前期繰越収支差額	5,744,396	5,744,396	0	
次期繰越収支差額	0	8,485,249	-8,485,249	

第2号議案その1

平成25年度 中部支部事業計画 (案)

第1 諸会議

- | | | |
|----------------------|-----------|-----------------|
| 1) 第50回 定時総会 | 6月13日 (木) | ホテルキャッスルプラザ |
| 2) 第50回 役員会 | 5月22日 (水) | 名古屋マリオットアソシアホテル |
| 3) 第1回 運営委員会 | 5月10日 (金) | ホテルキャッスルプラザ |
| 第2回 運営委員会 | 9月 | |
| 第3回 運営委員会 | 2月 | |
| 4) 第49期 包装管理士講座講師打合せ | 3月 | |

第2 事業

1) 研究会活動

(1) 研究例会

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| ① 輸送包装研究例会 | 6月27日 (木) | 愛知県産業労働センター |
| ② 包装資材研究例会 | 7月25日 (木) | 愛知県産業労働センター |
| ③ 包装情報研究例会 | 9月26日 (木) | 愛知県産業労働センター |
| ④ 生活者包装研究例会 | 10月24日 (木) | 愛知県産業労働センター |
| ⑤ 包装技術研究例会 | 11月14日 (木) | 愛知県産業労働センター |

(2) 講演会

- | | | |
|----------------------|--------------|-------------|
| ① 第50回定時総会記念講演会 | 6月13日 (木) | ホテルキャッスルプラザ |
| ② 第48期包装管理士歓迎講演会 | 10月18日 (金) | メルパルク名古屋 |
| (3) 見学会 | 9月 | 未定 |
| (4) 第53回包装技術研究大会中部大会 | 26年2月20日 (木) | 愛知県産業労働センター |
| (5) 第27回包装研究懇話会 | 26年3月 | 未定 |

2) 研修活動

- | | | |
|--------------------|----------------|--------------------|
| (1) 第23回包装設計の基礎講座 | 5月23、24日 (木、金) | 愛知県技術開発交流センター |
| (2) 第48期包装管理士講座 | 6月～9月 | ロジールホテル豊橋・ウインクあいち他 |
| 第48期包装管理士講座合格証書授与式 | 10月18日 (金) | メルパルク名古屋 |

- | | | |
|----------------------|-----------------|-------------|
| 3) 第50回定時総会交流懇親会 | 6月13日 (木) | ホテルキャッスルプラザ |
| 4) 第48期包装管理士歓迎交流懇親会 | 10月18日 (金) | メルパルク名古屋 |
| 5) 2014年中部包装界新年賀詞交歓会 | 26年1月14日 (火) | ホテルキャッスルプラザ |
| 6) 第51回全日本包装技術研究大会 | 11月28、29日 (木、金) | 仙台サンプラザ |
| 7) 月刊誌「包装技術」発行 | | |
| 8) その他後援事業 | | |

平成25年度中部支部収支予算書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：円)

支入の部				
科 目	前年度決算額	前年度予算額	今年度度予算	備 考
事業収入	21,369,752	20,995,604	20,971,000	
研修事業収入	21,246,550	20,826,750	20,826,750	管理士講座、基礎講座
交流事業収入	120,000	141,000	141,000	見学会、新年会
雑収入	3,202	27,854	3,250	利息他
支出の部				
事業活動支出	18,628,899	26,740,000	27,018,000	
研修事業費	12,347,147	17,320,000	17,820,000	管理士講座、基礎講座他
交流事業費	2,890,567	3,700,000	4,020,000	総会、新年会、役員会他
管理費	3,391,185	5,720,000	5,178,000	
旅費交通費	49,320	500,000	260,000	支部連絡会、全国大会他
通信運搬費	282,916	500,000	838,000	電話回線、サーバ使用料他
減価償却費	0	20,000	0	
消耗什器備品費	142,109	100,000	200,000	文具、PC更新費他
OA費	233,406	240,000	240,000	コピー機リース代他
印刷製本費	104,502	220,000	220,000	コピー代
賃借料	1,800,396	1,850,000	1,850,000	事務所賃借料
事業活動費	709,066	1,190,000	1,400,000	50周年記念行事準備費他
租税公課	0	600,000	0	
退職給付引当金繰入額	0	300,000	0	
雑費	69,470	200,000	170,000	書籍類、祝儀香典代他
事業活動収支差額	2,740,853	-5,744,396	-6,047,000	
予備費支出				
当期収支差額	2,740,853	-5,744,396	-6,047,000	
前期繰越収支差額	5,744,396	5,744,396	8,485,249	
次期繰越収支差額	8,485,249	0	2,438,249	

第3号議案

役員を選任(案)に関する件

(敬称略)

1. 役員を次の通り退任及び新任したい。

(1) 退 任

役 員	深津 秀夫	ホーユー株式会社	品質保証部長
	宮川 和典	株式会社ミツカンサンミ	生産物流本部仕入統括部長

(2) 新 任

役 員	石井 齊	ホーユー株式会社	執行役員 生産・物流本部副本部長
	尾崎 志郎	株式会社ミツカンサンミ	生産物流本部仕入統括部次長

平成25年度 中部支部役員（案）

（敬称略50音順）

支 部 長	平手 正美	NGKロジスティクス株式会社	代表取締役社長
顧 問	山崎 秀嗣	株式会社デンソーロジテム	顧問
副 支 部 長	伊藤 清	名港海運株式会社	専務取締役
	高須 恭夫	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター長
	牧野 涉	アイセロ化学株式会社	代表取締役社長
役 員	○石井 齊	ホーユー株式会社	執行役員 生産・物流本部副本部長
	井上 和俊	フタムラ化学株式会社	常務取締役
	大辻 誠	中津川包装工業株式会社	代表取締役社長
	大坪 宜史	トヨタ自動車株式会社	サービスパーツ物流部物流準備計画室長
	○尾崎 志郎	株式会社ミツカンサンミ	生産物流本部 仕入統括部次長
	神谷 修	刈谷紙器株式会社	代表取締役社長
	倉田比呂志	アイシン精機株式会社	物流管理部長
	近藤 裕之	株式会社デンソーロジテム	取締役
	齊藤 光次	グイナパック株式会社	代表取締役副社長
	杉山 卓繁	笹徳印刷株式会社	代表取締役社長
	羽根 博巳	財団法人中部生産性本部	専務理事
	平野 公一	レンゴー株式会社段ボール部門	執行役員中部兼近畿事業部長
	見田 昌隆	見田工作株式会社	代表取締役社長
	三輪 達夫	NGKロジスティクス株式会社	常務取締役
	吉澤 一幸	東海漬物株式会社	常務取締役漬物機能研究所長
	渡邊 幸次	株式会社フジキカイ	取締役営業本部長
監 事	大澤 勝弘	浅野段ボール株式会社	代表取締役社長
	梶浦 宏男	株式会社チューゲン	代表取締役社長

（○印：新役員）

平成25年度 中部支部運営委員（案）

（敬称略50音順）

委員長	近藤 裕之 株式会社デンソーロジテム	取締役
副委員長	小塚 恒夫 株式会社チューゲン	専務取締役
委員	安藤 昇 トヨタ自動車株式会社	カービスパーツ物流部物流準備計画室グループ長
	伊藤 恭敏 三菱電機(株)名古屋製作所	営業部物流グループ マネージャー
	岩田 峰司 東海漬物株式会社	漬物機能研究所商品開発グループ 主事
	海老塚豊実 株式会社ミツカンサンミ	生産物流本部仕入統括部調達2課専任課長
	大崎 清 ホッカサポロフード&ビブレヅ(株)	名古屋工場 工場長
○大浜 剛	アイシン精機株式会社	物流管理部物流企画Gチームリーダー
大山 孝一	中津川包装工業株式会社	西部・関西販売推進部長
奥平 賢司	見田工作株式会社	LP室長
押田 孝博	リスパック株式会社	取締役技術開発本部長
加納 隆司	株式会社エイテクノデザイン	代表取締役社長
神谷 強	刈谷紙器株式会社	専務取締役
後藤 嘉信	フタムラ化学株式会社	フィルム営業企画部企画Gリーダー
近藤 浩一	笹徳印刷株式会社	編集制作部本部長
笹田 敬史	エーザイ株式会社	CJ部技術センター川島研究室 担当課長
杉浦 一男	石塚硝子株式会社	執行役員ペーパーカンパニー執行役員社長
瀬戸上 裕	京セラケムメントソリューションズ株式会社	技術本部プリンター統括技術部第25技術部責任者
高見 昭寛	ホーユー株式会社	桜が丘製造部品質保証課長
谷内 秀夫	アイセロ化学株式会社	常務取締役技術開発本部長
柘植 要	名港海運株式会社	取締役営業第2部長
富田 茂樹	三菱重工業株式会社冷熱事業本部	空調輸冷工作部生産技術課長
○中荃 秀夫	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター環境材料室長
中野 幸夫	ダイナパック株式会社	営業本部企画設計部部長代理
○中村 豊	(株)ノリタケカンパニーリミテド	工業機材事業本部営業管理部物流Gリーダー
深村 英明	ヤマハ発動機株式会社	BDsys技術部ロジスティクス技術課主査
前川 銑一	愛電商事株式会社	業務事業部物流部 部長
矢島 泰人	NGKロジスティクス株式会社	業務部副部長
吉田 将之	浅野段ボール株式会社	取締役営業部長

（○印：新運営委員）

公益社団法人日本包装技術協会
中部支部規則

(名称および事務局)

第1条 本会は公益社団法人日本包装技術協会・中部支部と称し、事務局を愛知県内に置く。

(目的)

第2条 本規則は、公益社団法人日本包装技術協会の支部運営規則に基づき、本会の活動および運営を円滑に遂行するために定める。

第3条 本会は包装技術等の向上改善を通じて生産、流通および消費の合理化を図り、もって地域諸企業および地域経済の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 調査、研究
2. 研究会、講演会および見学会の開催
3. 研修、教育
4. 技術の指導および相談
5. 資料の蒐集整理および配布
6. 国内関係機関との連絡提携
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は公益社団法人日本包装技術協会の会員のうち主として中部地区に在住する者をもって組織する。

ただし、他地区在住会員の当支部所属および当地区在住会員の他支部所属はこれをさまたげない。

2. 会員は次の2種とする。

(1) 正会員

本会の目的に賛同し、入会金および会費を納めた法人または個人

(2) 特別会員

学識経験者で役員会において承認されたもの

(役員および任期)

第6条 本会に次の役員を置くことができる。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 若干名
- (3) 役員 若干名
- (4) 監事 若干名

2. 支部長は本会を代表し、会務を総理する。又、総会および役員会を召集しその議長となる。副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれを代理する。

役員は役員会を通じて本会の重要会務を審議する。

監事は本会の業務および会計を監査する。

- 第7条 役員は総会において選出し、その任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。
2. 任期中において補充された役員の任期は残任期間とする。
 3. 役員は任期が満了しても後任者が就任するまでは、その職務をおこなうものとする。

(運営委員会)

- 第8条 本会に運営委員会を置き、さらに業務の運営に必要なときは特別委員会を置くことができる。
2. 委員は業務の企画および運営の具体的方法その他を審議し、その推進にあたる。
 3. 委員長および委員は会員の中より、支部長が委嘱する。

(総会)

第9条 総会は年1回以上開催し、規約の改正その他重要事項を議決する。

第10条 総会の議決は出席者の過半数によって決する。
可否同数の場合は議長の決するところによる。

(事業年度)

第11条 本会の事業年度は毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

第12条 本規則に特に定めない事項については、公益社団法人日本包装技術協会の定款および支部運営規則を準用する。

附 則

この規則は本会発足の昭和39年9月9日から実施する。

昭和39年9月9日制定
昭和56年5月29日改正
平成8年8月1日改正
平成22年10月12日改正
平成23年11月1日改正
平成24年5月17日改正